

Sustainable Report No.061

廃棄される 規格外野菜をお酒に

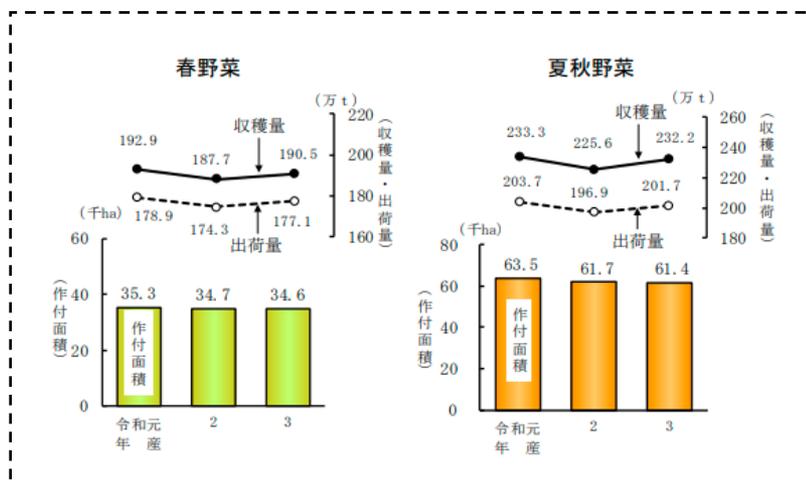


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

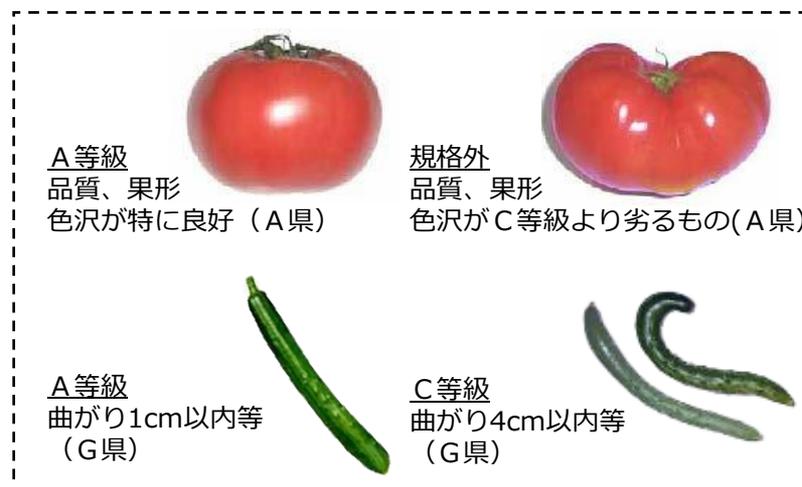
- 日本では2021年に春野菜と夏秋野菜が422.7万t収穫され、そのうち**出荷されなかった重量は10%にあたる43.9万t**であった
- 野菜は地域ごとに**色や形、重さの出荷規格が定められ**、合わないと流通・販売に不適切と判断される
- 生産量に対して規格外の野菜が多いと出荷量が少なくなるため、肥料や農業機械の燃料など**生産コストを回収できず**、農家が経営に苦しむ要因のひとつとなる

■ 春野菜、夏秋野菜の作付面積、収穫量及び出荷量



出典：農林水産省

■ 規格外野菜の判断基準



出典：農林水産省をもとに筆者作成

▶ NEXT : 規格外食材を使用してお酒を製造

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 鹿児島県志布志市にある**若潮酒造株式会社**は、1968年に蔵元5社の協業により設立し「人と人をつなぐもの」を心に刻み焼酎を製造
- 大隅半島産の規格外フルーツや野菜（イチゴまたはキュウリ）にスパイスやハーブ、芋焼酎を合わせることで、**規格外食材を活用しながら素材本来の香りを楽しめるお酒を製造**し、2022年9月より販売
- 規格外となる青果の生産量は狙ったものではなく**調達が安定しない**ため、計画的な製造拡大が難しい

■ 「酒屋が選ぶ焼酎大賞」を受賞した若潮酒造株式会社



出典：若潮酒造

■ 規格外の食材で製造した“fスピリッツ”



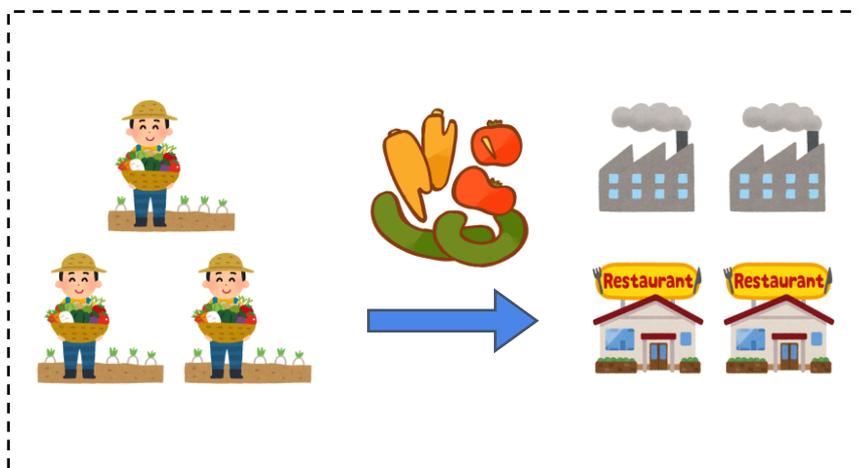
出典：Makuake

▶ NEXT：規格外野菜の活用方法を増進

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 規格外野菜は、地域内の事業者が手を組んで商品化するなど、まちの魅力として発信したい姿勢が表れるので、**特定の農家と取引される**ことが多い
- 規格外野菜が**複数の農家から供給**され、製造が安定した商品となることが理想である
- **達成したいことや想いを伝えながら協働を募り**、共感する農家と、レストランや食品加工会社など食品を扱う企業が連携し、規格外野菜の活用方法を広げることが期待される

■ 規格外野菜の活用を広げるイメージ



図：筆者作成

■ 規格外野菜を料理にするイメージ



写真：写真AC

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 農林水産省, 「作物統計調査」, 2022年4月28日 (https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/attach/pdf/index-6.pdf)
- 農林水産省, 「農産物の生鮮販売や加工・業務用途における多様なニーズに対応した取組の可能性(案)」, 2007年3月 (https://www.maff.go.jp/j/study/syoku_cost/pdf/data03_5.pdf)
- 若潮酒造株式会社HP, 2022年11月16日参照 (<https://wakashio.com>)
- 若潮酒造株式会社Facebook, 2023年5月19日参照 (https://www.facebook.com/wakashio/?ref=page_internal)
- Makuake, 「地域共奏のお酒。規格外のフルーツ&野菜と芋焼酎で作る“fスピリッツ”」, 2022年10月25日 (<https://www.makuake.com/project/wakashio/>)
- ACワークス株式会社「写真AC」, 2022年11月16日参照 (<https://www.photo-ac.com/>)
- ACワークス株式会社, 「イラストAC」, 2022年11月16日参照 (<https://www.ac-illustr.com/>)
- みふねたかし, 「いらすとや」, 2022年11月16日参照 (<https://www.irasutoya.com/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。